※令和３年度以前入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　　国語科

教科	国語	科目	現代文Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「現代文Ａ」　（三省堂）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・休まずに授業に出席し、しっかりと授業に参加する姿勢を身につけましょう。
・この授業では、近代以降の様々な文章を読み、読み解く力を身につけます。
・感想文や要約などの文章を書き、自身の考えを書くことで読みを深める学習も行います。

２　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
また生涯にわたって読書に親しみ，国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに，国語で理解し表現する力を進んで高め，国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・行動の観察 ・提出物 （プリントなど）			・提出物 （プリントなど） ・要約 ・定期考査	・提出物 （プリントなど） ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(中間考査)	随想	三浦しをん 『求めるものに応えてくれる』	○			○	○	a:「本」を読むことの意味について考えを深めようとしている。 d:文章の内容から，筆者の「本」に対する考えを理解している。 e:漢字などの語彙を増やし、ことわざ・慣用句などの表現を理解している。	・出席状況 ・授業態度 ・行動の観察 ・提出物 (プリントなど) ・要約 ・小テスト ・定期考査
	小説	大田光 『アマガエル』	○			○	○	a:人物や心情などを，どうして筆者がこのように描いているのかに気づこうとしている。 d:筆者が伝えようとしているメッセージを読み取っている e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	
前期(期末考査)	随想	高畑勲 『眼差しを交わす喜び』	○			○	○	a:筆者の考えなどを過不足なく読み取ろうとしている。 d:筆者の主張を理解出来ている。 e:語句の意味、用法，表記の仕方について理解している。	
	小説	角田光代 『旅する本』	○			○	○	a:「本」との関わりをとおして「私」の人生への向き合い方を考えようとしている。 d:どうして筆者がこのように描いているのかに気づいている。 e: :語句の意味、用法，表記の仕方について理解している。	
後期(中間考査)	小説	中島敦 『山月記』	○			○	○	a:漢文脈の表現の響きやリズムを味わい、文体の魅力を鑑賞しようとしている。 d:漢文訓読調の文章を音読し、そのリズムや響きを味わっている。また李徴が虎になった理由を、李徴の独白から読み取っている。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	
後期(期末考査)	随想	姜尚中 『人はなぜ働くのか』	○			○	○	a:筆者の主張を、自分自身の問題としてとらえて考えている。 d:「人がなぜ働くのか」を通して、筆者の主張を読み取れているか。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について〇を付けている。